

ホーム名：グループホームぽっぽ大手町						
自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員と共に理念を共有し、それを目の触れやすい場所に掲示し、ミーティング等で共有し実践している。	理念は、毎年見直しが行われている。又、管理者と職員は、理念の意味を理解し、共有するため、いつでも意識できるように目に触れる場所に掲示されている。	職員数が多いため、一人ひとりへの説明や全職員間での共有には時間がかかると思われるので、掲示以外に各職員向けに理念を解説したもの等を用意されてはどうか。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、地域の行事(敬老会)に参加したり入居者と共に、地域を散歩したり、駅前商店街に買物に行ったりしている。	地域の自治会に加入するだけでなく、自治会で開催される様々なイベントに積極的に参加されている。	自治会との関係をさらに深め、施設のことも知ってもらうため、自治会にイベント等で施設を活用してもらうことを検討されてはどうか。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の掃除当番に、時々利用者と参加している。そこで、地域の方へ認知症の理解を深める機会となっている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しており、地域包括、地域の方を交えて、情報交換ができるように配慮している。	会議出席者として、社会福祉協議会(福祉委員会、地域包括支援センター)、茨木市(介護支援相談員)、自治会会長等が出席され、利用者の状況等を含めた意見交換が行われている。	利用者の家族にも参加して頂ければ、施設の運営についての理解と施設との関係も深まるのではないかと思われるので検討されてはどうか。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の窓口に相談に乗っていただき、助言をいただくようにはしている。介護支援相談員の方にも月1回来ていただき、相談には乗っていただいている。	市に対し、施設側から報告、連絡、相談を行い、協力関係を深める努力をされている。市からは、介護支援相談員が定期的(月1回)に施設を訪問され、様々な相談を通じて協力関係が築かれている。	可能であれば、運営推進会議に出席して頂き、市への相談結果を市側から説明してもらう等打診されてはどうか。施設以外に地域との関係もより深まるのではないと思われる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	入居者の状況を常に観察して、見守りを重視している。拘束に排除に向けて正しく理解するために、会議も行なっている。	利用者とその家族に対し、重要事項説明書の”身体的拘束等について”の項で、定義し、これに基づいて、対応をされている。	職員数が多いため、一人ひとりへの説明や全職員間での共有には時間がかかると思われるので、施設でこれまでの経験に基づき事例集のようなマニュアルを準備されてはどうか。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の生活の中で、職員間で言葉かけ、ケアの方法について、話し合い虐待防止に努めている。			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見人制度を活用されている方が2名おられ、実際に関わり、研修等の機会には、積極的に</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に見学をして「お試し利用」を勤めている。重要事項を説明し了承を得た上で契約している。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃からご家族様には入居者の状況報告は密にし、細かな要望など電話も含めて口頭で聞いている。</p>	<p>家族に対し、利用者の現状と今後の見通しについての説明を行い、早め早めに家族の意見や意向を確認するようにされている。</p>	<p>職員数が多いため、全職員間での共有には時間がかかると思われるので、職員の手づくりによる利用者や家族からの意見等を記録したものを作成されてはどうか。特にこれまでの意見に対し、どのような結果になったのかは重要かと思われる。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>朝礼や職員会議等、職員間で意見、提案を出し、連絡ノートを活用し情報共有している。</p>	<p>朝礼や職員会議（1日1回）以外に連絡ノートを活用し、職員間での情報共有の1つとして活用されている。</p>	<p>職員数が多いため、一人ひとりへの意見を聞き、全職員間での共有には時間がかかると思われるので、運営規定ではない職員の手づくりによる運営マニュアルのようなものを作成されてはどうか。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員と管理者はコミュニケーションを図り、何でも話せる関係であり、理事長に皆の思いを伝えるように努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の自主的な研修参加に配慮している。研修後は、資料を回覧し、職員間で共有できるように努めている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市の施設会に参加し交流、意見交換の場となっている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居に際し職員と個別に時間を取り充分話を聞いている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に本人様と一緒に見学に来て頂いたり、事前に不安や要望を聞き、ご家族様とのコミュニケーションを大切にし、話しやすい雰囲気作りをしている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者の自宅に赴き、本人様と家族の意向をしっかりと把握し、安心して生活できるように努めている</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で『共に暮らす』という意識を持ち、出来る事は自分でしてもらい、生活を通して信頼関係を築いている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会などの時、極力家族と共に話し合い、緊密化に努めている。電話相談にも常時応じて、安心感を持ってもらっている。</p>		
20	<p>8</p> <p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族様、知人、友人の面会には、ゆっくと過ごして頂くよう雰囲気作りにも心がけている。なじみのあるスーパーや、公園などへ行ったり、散歩を通して、思い出あるの場所に出向いている。</p>	<p>家族以外の知人、友人が面会された場合、利用者の状況を説明し、理解をして頂けるようにされている。</p>	<p>継続して家族以外の面会者に対しても利用者の状況を説明されていかれることを期待したい。その際、面会者記録のようなもので残しておけば、次回に訪問時、その後の変化も面会者に説明できるのではないかと思われる。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者のできること、できないことを把握し、その方が力を発揮できるように声かけを行ったりしている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院されたり、他施設に入られたりしたときは、面会に行ったり、ご家族様に会った時には、様子を伺ったりしている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向を確認しているが、日々の行動、言動、表現を観察し、再度思いや希望を、把握するように努めている。	職員全員で、利用者を日々、注意深く観察し、その変化から利用者の思いや意向を把握するように努めている。	職員数が多いため、全職員間での共有には時間がかかると思われるので、職員の手づくりによる本人の意向を記録したものを作成されてはどうか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	サービス開始時に、これまでの暮らしについて情報を得るが、日々の暮らしを通し、新たな情報についても把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりが個々のスペースで生活できるように見守り、時には個別対応を行ないながら現状の把握に努めるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や、申し送り等で出た意見等を介護支援専門員と共に検討し、家族の方にも来てもらい、現状にあったケアが出来るように、介護計画を立てている。必要な場合は、協力医にも出席をしてもらう。	介護計画の見直しに当たり、家族とも同意をした上で、現状とこの先の変化も考慮しながら介護計画の見直しをされている。	利用者の変化は、職員が日々確認されているため、職員の意見も大事かと思われる。継続して、介護計画見直しに際し、職員からの意見も取りまとめて、介護計画に反映されていけることが望まれる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護個別記録表に、日々の介護実践を記録している。また、共通のノートを作り、気づきや伝達事項を書き入れ、共通認識を持つようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々に合わせ、その時の状況に合ったケアを実践している。又通院にも同伴したり、事業所に往診に来てもらったりしている。必要時医師の指示を受け、看護師が点滴や処置を行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治長から、地域のボランティアを紹介してもらい、来てもらったりしている。入居者の体調が良ければ、地域清掃にも参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度、事業所に往診に来てもらっている。常に電話相談したり、必要時は、臨時往診も対応してもらっている。	かかりつけ医は、定期的に施設側に往診に来てもらい、受診診断結果は、職員と常駐（平日）されている看護師と共有している。	茨木市駅近隣と立地環境がよいため、医療機関も多い。利用者と職員の負担軽減にもつながるため、往診可能なかかりつけ医を利用者の症状に応じて増やす等を検討されてはどうか。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>看護師が在籍し、状態変化等の場合は相談し、受診の必要性の判断や助言を得ている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>面会時に、医師や看護師に話を聞き、情報を得ている。退院後、すぐに対応できるようにしている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人にとって一番良い方法(環境)について家族と話し合いた上で施設側、家族、協力医と再度話し合いをしていきながら、納得しながら進めている。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、家族への説明と理解を中心に進め、施設側も家族の思いや意向に対応できるよう協力医療機関とも連携し、対応されている。</p>	<p>施設単独では、重度化や終末期への対応が難しいことも多いと思われる。提携医療機関との連携が大事となると思われるので、重度化や終末期に対応してもらえる提携医療機関を増やしていけることが望まれる。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルがあり、緊急時にも速やかに対応できるように備えている。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練や市の訓練時に施設全体で訓練している。</p>	<p>併設の小規模多機能ホームとの連携し、施設独自の消防訓練と市と連携した消防訓練を実施されており、地域の消防団との訓練も検討されている。</p>	<p>消防訓練以外に地震対策訓練も大事かと思われる。地震対策訓練として、市で年1回実施されている市全域防災訓練(シェイクアウト訓練)への参加も検討されているかどうか。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを尊重し、さりげない声掛け、言葉掛けを心がけている。職員研修などで、対応の仕方を学習し、気になる言葉を話し合ったり、指摘したりしている。	利用者の人格尊重で、特に注意されていることは、利用者に対する職員の言葉づかいで、職員同士でもお互いに言葉づかいについて、話し合い等が行われている。	職員数が多いため、全職員間での共有には時間がかかると思われるので、職員の手づくりによる言葉づかいのマニュアル等を検討されてはどうか。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中での会話で、思いや、希望を探ったり、一人ひとりが自分で決定できるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに合わせて、その日の体調や気持ちに配慮しながら支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2~3ヶ月に一度美容師にカットしてもらっている。鏡の前で髪をといたり、着替えの際に服の組み合わせを一緒に考えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を取り入れたり、好みに合わせてアレンジしたり、後片づけが出来る入居者には、職員と一緒にしている。	昼食と夕食の間に、おやつタイムや、食のレクリエーションタイムを設けて、利用者が食を楽しむ工夫をされている。	地域の方に昼食だけでも利用してもらおうことを検討されてはどうか。地域との交流や施設を知ってもらうためにもつながるのではないかと思われる。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し把握している。食事に関しても、栄養士に相談したり、協力医にも相談しながら全職員で見守り、援助している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1年に一度の健診をしてもらっている。職員が、見守り、援助し、毎食後全員歯磨き、義歯の人は外して洗浄、夜は洗浄液に浸けて保管している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握するように努めている。トイレ案内、声掛け等を行い、可能な限りトイレで排泄するように促している。	現在、利用者と職員は、女性で同年代も方も多いため、利用者は安心して排泄支援を任せることができる状況となっている。	同性同世代での排泄支援は、利用者の安心感につながると思われる。男性の場合は、難しい面もあるかと思われるが、毅然とした態度で臨むことが重要かと思われる。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食事の工夫、毎朝ヨーグルトや牛乳の提供摂取するなど、自然排便を促す取り組みを行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	概ね時間は決まっているが、本人様の体調や希望により、変更したり、入浴拒否の場合は無理強いせず、時間をずらして声かけを行なっている。	現在、利用者と職員は、同性同年代も方も多いため、利用者は安心して入浴支援を任せることができる状況となっている。	同性同世代での入浴支援は、利用者の安心感につながると思われる。男性の場合は、難しい面もあるかと思われるが、毅然とした態度で臨むことが重要かと思われる。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>前夜の睡眠状況や疲労の状態に合わせて、随時昼寝や休息をとってもらっている。日中適度な活動を促し、生活リズムを作る事で、安眠できるように支援している</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬の内容は職員と把握し、いつでも確認ができるようファイルに保管している。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>それぞれの生活歴や得意な事を把握し、その方らしく過ごせる役割が持てる場を作り出せるよう努めている。</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>体力に応じた距離の散歩や、買物などに出かける。天気が良ければ、散歩に出かけている。</p>	<p>茨木市近隣でありながら、閑静な住宅地に立地しているため、気軽に散歩や買い物を楽しむことができる。この立地のよさもあり、利用者と職員は、気軽に散歩や買い物を楽しんでいる。</p>	<p>立地環境もよいので、継続して日常的な外出支援が望まれる。職員も近隣に住まれている方が多いので、外出時の話題も多く、利用者だけでなく職員も外出を楽しみ、リフレッシュできるのではないかとと思われる。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望があればもって頂くようにしている。買物にも一緒に行くようにしている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が出来ない場合は、手伝い電話を掛けられるようにしている。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内全体バリアフリーにしている。食堂兼居間では採光もよく壁には、飾り物を貼っている。</p>	<p>施設全体が非常に採光状態がよく、衛生面での環境維持にも効果があると思われる。又、この採光状態により、施設内に明るい雰囲気を出しており、利用者と職員の笑顔にもつながっていると思われる。</p>	<p>地域の方にも協力して頂き、共有空間づくりのアドバイス等を頂いてはどうか。地域の方との関係もより深まるのではないかとと思われる。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間兼食堂では、気の合ったもの同士が、過ごせるよう、席の配置を工夫している。自室を使いながら個別対応しながら、過ごしている。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みのある物を持ってきて頂き、出来る限り、自宅に近い雰囲気となるようご家族様に協力して頂いている。</p>	<p>住み慣れた自宅の居室を演出できるように家族の協力のもとで、職員は、”利用者はこのような人”を表現できるよう飾りつけ等も工夫されている。</p>	<p>施設は自宅ではないが、”第2の自宅の居室”となるよう家族の協力のもと、継続して居心地よく過ごせる居室づくりに取り組んでいかれることが望まれる。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者同士の助け合いなど、自分で出来ることは、声かけ、見守り、支援している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない